

令和7年度第1回（定期）独立行政法人家畜改良センター

内部統制監視委員会議事要旨

（本場及び芝原地区）

1 日 時

令和7年9月16日（火） 10：30～16：00

2 場 所

独立行政法人家畜改良センター本所（本場及び芝原地区）

3 出席者

委員長：弁護士法人宮本法律事務所 弁護士 みやもと たかお 宮本 多可夫 氏

委員：福島大学経済経営学類 教授 ゆん きんよる 尹 卿烈 氏

委員：株式会社ファームサポーターズ・ラボ 代表取締役
おかべ ゆみこ 岡部 由美子 氏

4 議事及び主な意見

（1）休薬期間中の家畜誤出荷事案を受けた再発防止対策状況の確認

投薬及び飼養管理状況の見える化と複数者によるチェック体制を取り入れた、家畜の休薬期間中に出荷をしない仕組みが上手く機能していることを確認した。今の仕組みを続けて、誤出荷が発生しないように努めていただきたいと思う。

なお、現時点では、しっかりとした仕組みだと思うが、重要な情報を取り扱っているので、冗長性のあるデータのバックアップ体制を構築すれば、さらに良いと思う。

（2）労働安全衛生事案の発生防止に向けた取組状況の確認

現場で事故を発生させないための工夫を各牧場間で共有し、業務の運営管理を平準化させる取組を実直に行っていることに感心した。一般的に、その現場の様相から、建設業が最も労働災害が多い業種であるイメージされるが、実際は、農業関係が、その3倍の発生件数であることから、センターの関係者には、なお気を引き締めて、説明にあった取組を続けて、1件でも多く労働災害を防いでいただきたい。